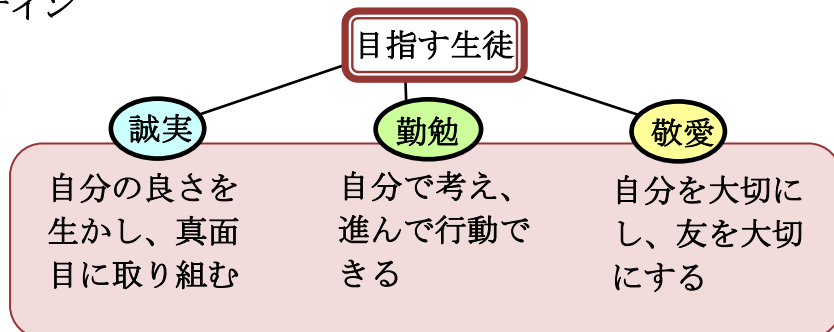


令和7年度 教 育 計 画						学校番号 43	
今治市立大三島中学校							
校長名	角尾 貴裕	学級数	4 (1)	児 童 生徒数	68	教職員数	10

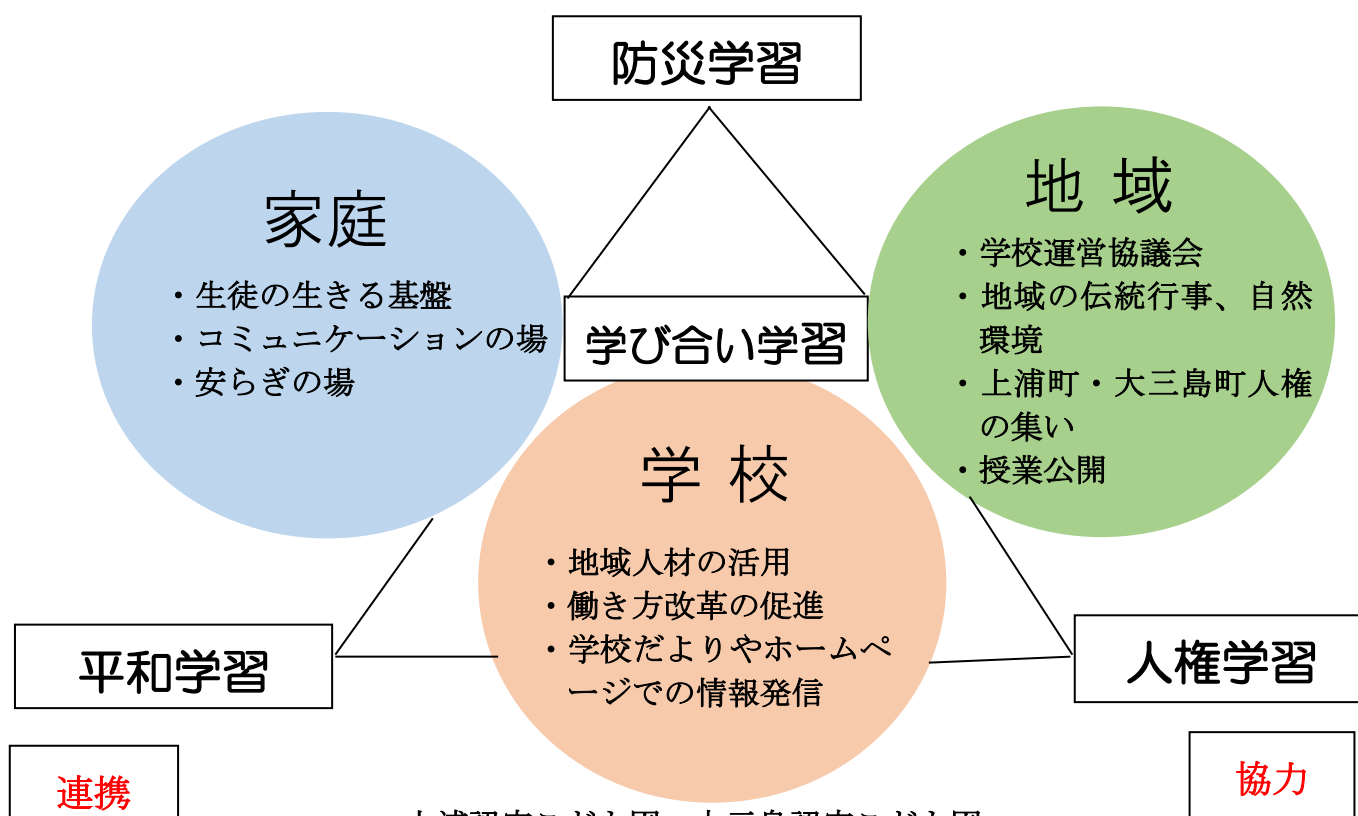
グランドデザイン



教育目標

思いやりの心と主体性を育てる

(子どもがまん中、生徒ファーストの学校づくり)



上浦認定こども園・大三島認定こども園
大三島小学校・上浦小学校・今治北高校大三島分校
合同避難訓練・小中連携（保健体育・防災教育）



重点目標と具現策	1 学び合いの学習や個別指導を通して、誰一人取り残さない学習指導を推進する。 (1) 小集団学習を活用した学び合いの学習を実現することで、表現力の育成及び学力の向上を図る。 (2) 学習相談やテスト後の訂正ノートなどを活用して、個に応じたきめ細やかな学習指導を行う。 (3) 地域に授業を公開し、学校と地域の連携を深め、地域の教育資源を活用できる機会を設ける。 2 命の尊さに気付き、進路実現に向けて何事にも挑戦しようとする教育を推進する。 (1) 「生を受けることの奇跡」について考え、自他ともに命を輝かせようとする生徒を育成する。 (2) 過去の災害を忘れぬ強い意志を持ち、災害伝承学習や防災学習に積極的に参加し、人の痛みを理解し、自他ともに命を守ることができる生徒を育成する。(防災小説の作成) (3) 「生きるということ」を学年に応じて真剣に考える場を設定する。 3 地域の実態を踏まえた特色ある学校づくりを推進する。 (1) 豊かな体験活動を工夫し、郷土の自然や文化を愛する心を育てる。 (2) 地域に足を運び、保護者や地域と連携し、地域とともに生徒を守り育てる体制を構築する。 (3) 学校の取組を保護者・地域に積極的に発信し、その評価を学校教育の改善に生かす。 (4) 行政や企業と連携した講演会や学習活動を展開することで、将来の進路実現の基礎を培う。
学校運営上の留意点	1 人的管理 (1) 危機管理意識を高め、「報告・連絡・相談」を大切にし、不祥事を起こさない・起こさせない職場の雰囲気醸成する。 (2) 教師の実践的指導力の育成に努めることで、「教育ほど面白いものはない」と感じさせる。 (3) 教職員の「育成」を図るため、1人1人の持ち味が発揮できる環境を整える。 (4) 生徒・教職員誰1人取り残さないために、家庭・地域・関係団体等と連携し、チームとして対応できるような組織づくりに努める。 (5) 校務の効率的な運営やお互いを慮ることで、個人の負担を軽減し、ワークライフバランスの向上を図り、働き方改革を推進する。 2 物的管理 (1) 施設・設備や備品、個人情報等の管理を徹底し、安全・安心な教育環境を整える。 (2) 施設・設備及び通学路等の安全点検を徹底し、事故防止に努める。 (3) P T Aや関係機関とも協力しながら、豊かな教育環境づくりに努める。 3 事務的管理 (1) 教職員の職責に対する自覚を高め、職務内容や分担を明確にするとともに、表簿・文書等は、正確かつ迅速な対応及び適切な処理・管理を行い事務の効率化に努める。 (2) 出納・経理は、厳正な対応及び処理を徹底し、信用の保持に努める。
学校教育の特色と展開	1 毎月の第3日曜日を「児童生徒を大切に見守る日」とし、学校・保護者・地域が連携・協力し、子どもたちを大切に見守る取組を推進する。 2 大三島の伝統文化や自然や施設等を活用して、自然体験や社会体験などの体験活動を積極的に行い、思いやりと奉仕の心を養うとともに、ふるさとを愛し、誇りに想う生徒を育成する。(福祉体験学習、職場体験学習、遠足、地方祭、地域学習等) 3 学校行事や生徒会行事は、生徒主体による企画・運営を尊重しながら、全校体制で取り組む。(運動会、文化祭、遠足、生徒集会等) 4 保・小・中・高の縦のつながりによる教育活動を通して、学習指導や生徒指導の連携や、それぞれの持ち味や発達段階を生かしたキャリア教育にも積極的に取り組む。(小中連携授業[保健体育・防災]、保・中合同避難訓練、高校体験入学、職場体験学習等)